

2013年3月期 第2四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

2013年3月期 第2四半期連結業績概要



(億円)	2012年3月期 第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)	2013年3月期 第2四半期実績 (2012.7.1~2012.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,099	2,070	△ 29	-1.4
営業利益	85	112	27	31.8
営業利益率	4.0%	5.4%	1.4pt	-
継続事業税引前利益	77	95	18	22.9
当期純利益	43	53	10	22.3
1株当たり利益(円)	33円30銭	41円74銭	-	-
為替	対ドルレート	77円96銭	78円67銭	0.9%の円安 11.0%の円高
	対ユーロレート	110円42銭	98円28銭	
為替変動による 影響金額	売上高：約11億円の減収 営業利益：約2億円の減益			

※非継続事業（ディスプレイ事業）除外後の実績値

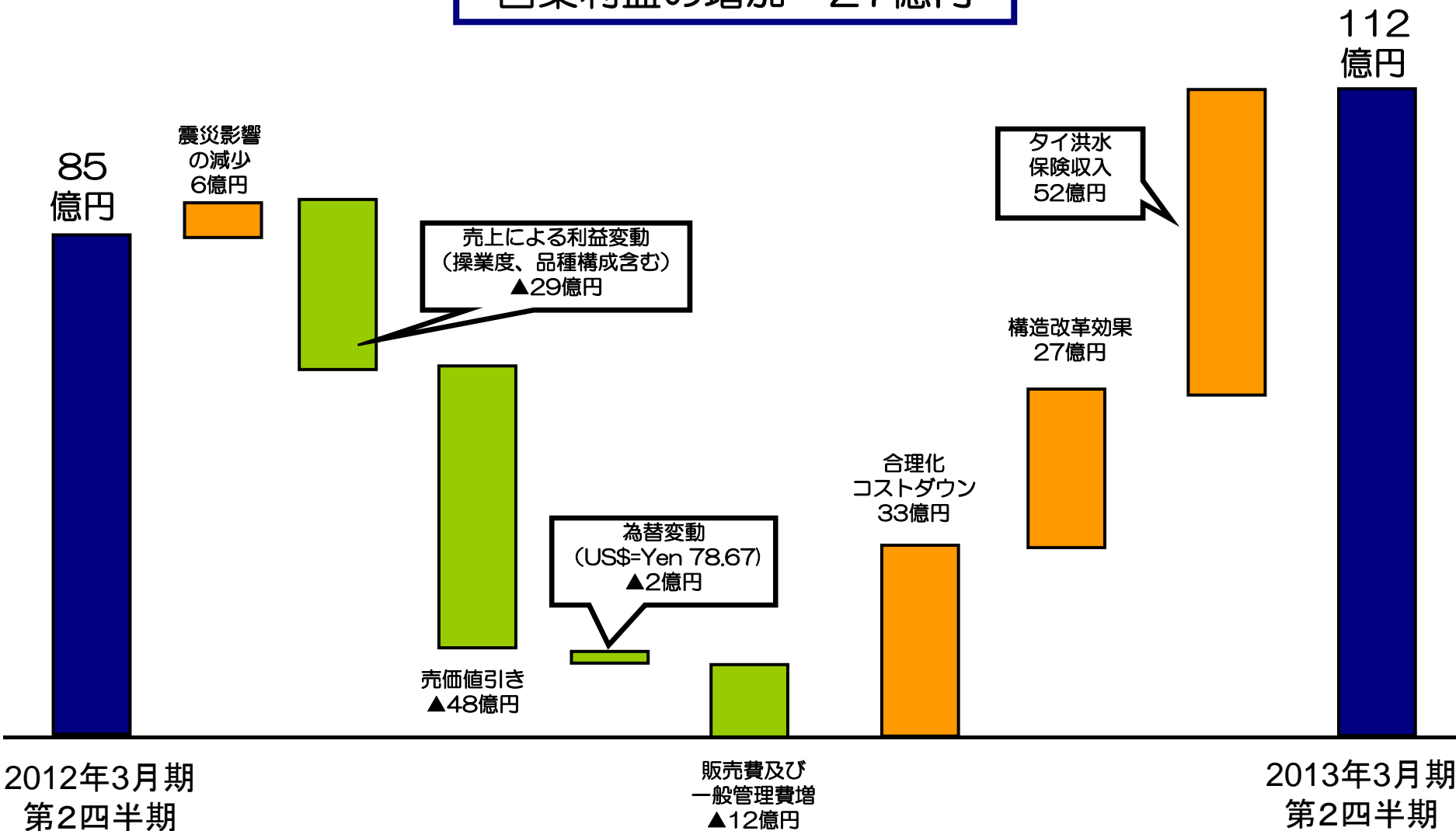
2013年3月期第2四半期 連結業績概要



(億円)		2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1~2011.9.30) (A)	2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1~2012.6.30) (B)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1~2012.9.30) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	342	314	292	△ 50	-14.6	△ 22	-7.0
	インダクティブデバイス	314	282	296	△ 18	-5.7	14	5.0
	その他受動部品	344	318	317	△ 27	-7.8	△ 1	-0.3
	受動部品合計	999	915	906	△ 93	-9.3	△ 9	-1.0
	記録デバイス	533	599	558	25	4.7	△ 41	-6.8
	その他磁気応用製品	277	283	276	△ 1	-0.4	△ 7	-2.5
	磁気応用製品合計	810	882	834	24	3.0	△ 48	-5.4
	フィルム応用製品合計	224	232	277	53	23.8	45	19.4
	その他	66	58	52	△ 14	-21.6	△ 6	-10.3
	合計	2,099	2,087	2,070	△ 29	-1.4	△ 17	-0.8
営業利益	受動部品	13	△ 29	△ 25	△ 38	-	4	-
	磁気応用製品	95	146	132	37	38.9	△ 14	-9.6
	フィルム応用製品	26	21	50	24	92.2	29	138.1
	その他	△ 12	△ 4	△ 5	8	-	△ 1	-
	小計	121	134	152	31	25.6	18	13.4
	全社および消去	△ 37	△ 42	△ 41	△ 4	-	1	-
	合計	85	92	112	27	31.8	20	21.7
	営業利益率	4.0%	4.4%	5.4%	-	-	-	-
為替	対ドルレート	77円96銭	80円27銭	78円67銭				
	対ユーロレート	110円42銭	103円18銭	98円28銭				

第2四半期営業利益増減分析

営業利益の増加 27億円



2013年3月期連結売上高増減イメージ

セグメント 区分	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 予想 (対2Q比)	第4四半期 予想 (対3Q比)	備考
受動部品	915	906	+8~10%	+3~5%	主に高周波部品、インダクティブ デバイスの販売が増加見込み
磁気応用製品	882	834	-1~-2%	-2~-3%	
フィルム 応用製品	232	277	+16~18%	±0%	主に二次電池の販売が増加見込み
その他	58	52	±0%	±0%	
合計	2,087	2,070	+5%程度	±0%程度	

為替レート \$/Yen 80.27 78.67 77.00 (下期前提)

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/2q_1.htm